

鮭の遡上と産卵を見にお越しください

鮭が

遡上時期 **2023**

11月上旬～12月上旬

帰ってくるまち筑西市



ただいま

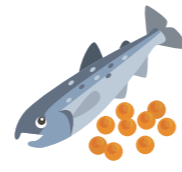
おかえり!

今年も鮭が産卵のために、筑西市内を流れる川に遡上する季節となりました。特に勤行川では、川沿いから間近にその姿を観察することができます。市街地のいろいろな場所で、遡上する鮭の姿を見られるのは非常に珍しいことです。



ちくせいし
鮭のふるさと 茨城県筑西市
 きぬがわ どんぎょうがわ こかいがわ
鬼怒川・勤行川・小貝川

人の手でふ化を お手伝いする取り組み



鬼怒小貝漁業協同組合では、鬼怒川に遡上した鮭から約60万粒を採卵して人工ふ化を行っています。産業の発展に伴い、鮭が自然繁殖できる環境が少なくなったため、人の手で卵から稚魚になるまでお手伝いをしています。大切に育てられた稚魚は、鬼怒川や勤行川に放流され、数年後ふるさとの川に戻ってきます。



鬼怒小貝漁業協同組合ふ化場



卵を選別している様子



ふ化したばかりの稚魚



稚魚放流会（2月）
大海原へ向け出発！

4000kmの回遊・鮭の遡上

鮭には、生まれた川に帰って産卵するという母川回帰（ぼせんかいき）の習性があります。稚魚は4～10cm位の大きさになったころ川を下り、一気に海に下ります。日本からオホーツク海、ベーリング海を回遊し、再び日本に戻るまで4年という歳月をかけ、ざっと4000～7000kmも泳いで、生まれ故郷に戻ってきます。



鮭の稚魚放流会

参加無料

日時：令和6年2月上旬
 場所：鬼怒川左岸（国道50号下）

詳細はお問い合わせ下さい。

問合せ 鬼怒小貝漁業協同組合
 ☎ 0296-28-0035



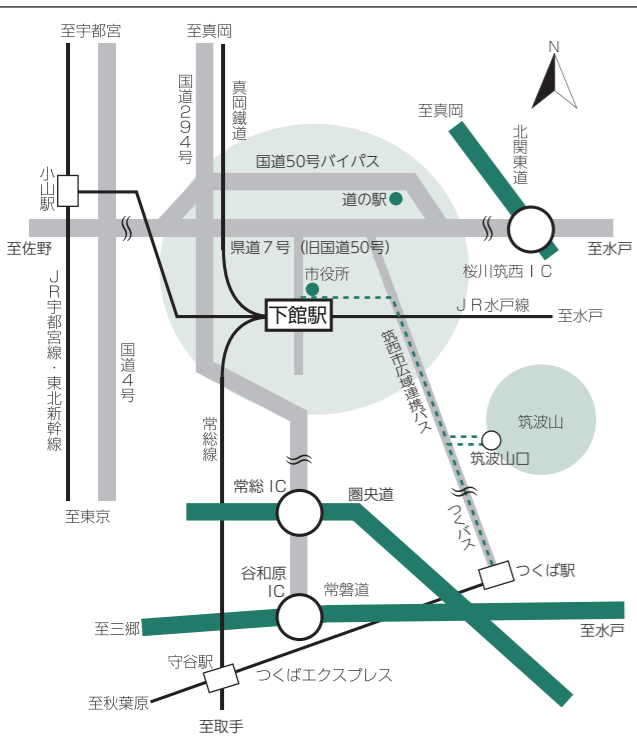
鮭が帰ってくるまち、筑西市

鮭の遡上の動画もあるよ
 最新の情報はホームページでご確認ください。
 「鮭がかえってくるまち、筑西市」ホームページ



変更の場合は市のHP等でお知らせします

筑西市までのアクセス



■電車を利用して

- 東京駅からは、東京…《JR東北新幹線》…小山…《JR水戸線》…下館で約70分
- 秋葉原駅からは、秋葉原…《つくばエクスプレス線・快速》…守谷…《関東鉄道常総線快速》…下館で約80分

■バスを利用して

- つくばセンター…《つくバス 北部シャトルバス》…筑波山口…《筑西市広域連携バス》…下館駅北口

■車を利用して

- 圏央道常総ICから国道294号で約40分
- 常磐自動車道谷和原ICから国道294号で約60分
- 北関東自動車道桜川筑西ICから国道50号で約20分

【駐車場】

- 筑西市下館武道館前駐車場（無料）休日のみ利用可能
- 勤行緑地駐車場（無料）
- 下館駅北口立体駐車場・平面駐車場（2時間無料・以後30分ごとに50円）